

ともに歩んだ5年に感謝

榎ノ木

第拾号

平成27年3月13日発行

青壮年部女性部広報

題字：大内翠峰



明治42年、私たちのご先祖様が寄進された涅槃図を背景に記念撮影

花園会青壮年部女性部発足
五年目を迎えて

禪興寺 住職 梅澤 徹玄

平素は青壮年部女性部活動にご協力賜り、心より厚く御礼申し上げます。

お陰様をもちまして、当会活動も本年七月七日をもちまして発足以来丸五年を迎えることになります。

これも偏に会員・総代・檀信徒・各行事一般参加者始め、当会報読者の方々、その他有縁無縁の皆様のご協力、ご指導・ご鞭撻の賜物と存じます。取り分け、率先垂範、骨身を惜しまず、陰になり日向になり、親身にご尽力下さいました執行部の皆様には、言葉に尽くせぬ感謝の気持ちで一杯です。

住職就任以来漸く七年目を迎えました。この間、数多くの檀信徒、一般の方々が、日常的に様々な宗教行事（三仏忌・降誕会・成道会・涅槃会、施餓鬼会、写経、法話会）やコンサート、各行事前の境内清掃、会場準備、運営、進行、後片付け、年三度の墓地清掃（春秋彼岸、盆）、境内墓地地区当番制の年二回の草

刈り、大本山妙心寺団体参拝、東日本大震災被災地復興支援・慰霊・樹木葬研修、女性部研修、広報誌発行、御詠歌活動等々、本当に数えきれない程多種多様な活動に、多くの方々に参加して頂き、住職冥利に尽きると深く感謝申し上げます。

今後共「みんなで支え、学び合い、活動する、みんなのお寺」の体現に向け、着実な歩みを進めて参りたく存じます。

約二千五百年の長きに亘り、人類が守り伝えてきた佛教の普遍的な尊い教えが、今を懸命に生きる今日の人々の暮らしを、根底から支える拠り所となり、人生の道標となりますよう、会員の皆様と手を携え、一人でも多くの方々に開かれたお寺づくりに邁進して参りたいと思います。

今後共相変わります、何卒よろしくお願い申し上げます。合掌





お釈迦様 お悟りの日 成道会

お釈迦様が悟りを開いた日を祝す大般若祈祷・厄除けの大音声が響く本堂



お経に合わせ全員でお念仏を唱え、大数珠回し

成道会大般若祈祷に参加して
反町下 平 愛子
師走十二月六日(土)に禪興寺本堂に於いて三仏忌(降誕会・成道会・涅槃会)の一つである成道会大般若祈祷法要が行われました。今年最後の大事業であります成道会に参加致しました。
お釈迦様が、お悟りを開かれたお祝いの、法要です。法要前に坐禅を組み、花園流無相協会吉田支部の皆さんと御詠歌奉詠を致しました。



御詠歌と鈴の音色

大般若祈祷は、御僧侶方十数名で「降伏一切大魔最勝成就」と大声で唱えながら大般若経の、経本を両手で大きく広げ上下左右にパラパラと、六百巻を転読する迫力に感動いたしました。
その後総代若生さんの鐘の音に合わせて「南無阿弥陀仏」の念仏を唱え大数珠を回し出席された総代の方々檀信徒の皆さんと読経焼香祈祷をし、今年一年の厄払いと新年の家内安全幸多かれとなりますよう祈りながら盛大に行われ、伊藤総代長の閉会の言葉で、終了いたしました。
今後とも諸行事に参加致したく感じました。
最後になりましたが会場設営に早朝より、ご協力いただきました総代、青壮年部・女性部の皆様に心より感謝申し上げます。

七ツ森樹木葬始まる

七ツ森の♪風になって～♪

4月から受付開始

形のある
お墓はありません
樹木の周辺に埋葬します。

誰でも申し込めます。
宗教・宗派
関係なし

費用は一括
35万円のみ

四季折々の
花や野草、鳥のさえずりの中で
大地に眠りたい。

「余生を自然とふれあい、死後は自然に
帰りたい」「子孫に墓の面倒をかけたくな
い」「形ある墓は残したくない」と考える
人々も増えてきました。

詳しくは
禪興寺ホームページ
又は住職まで

大本山妙心寺団体参拝

新緑の京都と宝塚歌劇団

参加者募集!

今般一般観光旅行では味わうことの出来ない、日本を代表する寺院の奥儀（非公開）に触れる**特別拝観旅行**を企画しました。

見所は妙心寺の拝観をはじめ一休禪師・千利休由縁の禅宗の名刹大本山大徳寺、真言宗大本山仁和寺宿坊宿泊、京都大原三千院、そのご用達茶屋での湯葉料理、そして、最終日には昨年創立102周年を迎える**宝塚歌劇団**の講演を**本場宝塚大劇場**にて観劇するフィナーレとなっております。



日 時 平成 **28** 年 6 月 3 日（金）～ 5 日（日）2 泊 3 日
 内 容 妙心寺参拝法要、京都近辺各寺院参拝、宝塚観劇
 費 用 お一人様、約 12 万円前後（予定）*申込金を含む
 申し込み 申込金 1 万円を添えて【参加申込書】を各地区総代宛て、
 締 切 り 平成 27 年 5 月 17 日（日）必着にてお申し込みください。



日	期日	行 程	食事
1	6/3 (金)	6:15 発 禪興寺 == 7:15 着 8:05 発 仙台空港 →→ 9:30 着 10:00 発 伊丹空港 == 10:00 着 『大本山 妙心寺 団体参拝』 13:30 発 == 13:50 着 臨濟宗大本山 大徳寺 特別拝観 == 15:30 発 真言宗御室派本山 仁和寺 御室会館 == 18:30 着 妙心寺御用達 精進料理『阿じろ』（夕食） == 仁和寺 御室会館（泊）	朝：× 昼：○ 夕：○
2	6/4 (土)	6:00 発 仁和寺 …… 7:30 発 朝食 …… 9:00 発 御室会館出発 == 9:45 着 大原三千院参拝 …… 13:00 発 昼食「京美茶屋」湯葉づくし == 13:30 着 天台宗寺門派・岩倉門跡 実相院 == 15:00 着 清水・二年坂にてお買い物 == 17:00 発 ホテル（チェックイン） …… 夕食（川の流れる 忍庵 北店） …… ホテル（泊）	朝：○ 昼：○ 夕：○
3	6/5 (日)	8:15 発 ホテル == 10:30 着 宝塚歌劇観劇 15:30 発 == 16:00 着 伊丹空港 →→→ 18:15 着 18:30 発 仙台空港 == 19:30 着 禪興寺 昼食（お弁当） 夕食：各自	朝：○ 昼：○ 夕：×

お釈迦様の命日 涅槃会

涅槃会に参加して

沢渡 早坂妙子

立春も過ぎたというのに、大雪になり、時々雪が降ったりやんだりしております。

御詠歌の透き通る声が響き心に静かな時が流れました。

二月十五日はお釈迦様のご命日です。

最後のお亡くなりになる様子が描かれた「涅槃図」に周りには嘆き悲しみ沢山の人々、鬼や動物、木まで、そして、産後の肥立ちが悪く若くしてお亡くなりになったお母様が八十歳になったわが子を救おうと薬壺を手に雲に乗り、駆けつけてくる姿も描かれています。

お顔はとても深い安らぎの中で満足されているように感じました。

私は、お釈迦様のように人生を無駄にすることなく精一杯過すことが出来るのだろうか、と考えさせられる一日となりました。



煮えたかなあ もう少しかなあ

女性部の『おもてなし』

女性部長 浅井房枝

二月十四日午後、本堂において涅槃会、写経会が実施されました。私達女性部は、今年も法要終了後の懇親会で、お汁粉、お漬物を用意することになりました。

もち米は、丹精込めて作られた地元産を寄贈頂き、小豆は御住職が京都亀岡産を用意してくださいました。

お汁粉用の餅は、のし餅にし、切って焼いて入れると時間がかかり大変でしたので、今年は、当日午前中についた餅を温めておき柔らかな餅を入れて作りました。

小豆の甘さは、砂糖と塩加減が微妙で、何回も味見しましたが、結



坐禅で集中力アップ

局不安のまま…。

それでも皆様に喜んでいただき、おかわりして下さる人も居て、嬉しく思いました。

会員皆様の奈良漬、たくあん漬、わらび、又、お茶、果物、茶菓子も用意して頂き、ゆったりと心穏やかなひとときを過ごせた日でした。ご協力、ご支援どうもありがとうございました。

写経会に参加して

吉川 絹枝

去る二月十四日禪興寺本堂において、研修日の行事であります「写経会」が開催されました。今回は涅槃会と併せての開催であった事もあり総代長始め二十九名と大勢の方々が参加されました。「延命十句観音経」という経文と写仏を写経いたしました。字をなぞって書くとはいえ普段筆を使っていないので手が震えて難しいものです。でも写経は祈りの実践、習字ではないので「上手な字」は必要ないそうです。

一文字、一文字をゆっくり丁寧に心を込めて文字を書き写していくことで自然に筆にも慣れてきました。最近、写経には色々な効用があるようで特に認知症予防にも効果的であることを科学的にも証明されているとのこと。（何かの本に書いてありました。）多忙な現代社会に生きる私達だからこそ写経を通じて無心になり心と体をリフレッシュされてはいかがでしょうか。



無心になれる写経と写仏を一度経験あれ！

今後の行事予定

- ◎3月23日（日）
境内墓地掃除
- ◎3月26日（水）
役員会
- ◎5月19日（月）
降誕会・「花祭り」子育て水
子地藏祭り・妙心寺派巡教師
による法話



三法印御功德ペタン

編集後記

おかげさまでもちまして、榎ノ木も十号を発行することが出来ました。

青壮年部女性部の活動がスタートして、私達広報部も活動があるたびに取材をし、参加者の皆さんからの感想の寄稿に助けられながら本号まで発行することが出来ました。

行事に参加された皆さんは、いつも楽しそうにしている姿と、新たな発見や体験をして自己研鑽を積み重ね成長している姿をよく目にします。

是非、みなさんも青壮年部女性部の活動に参加ください。

- 広報部
- 部長 鵜橋初雄
 - 副部長 佐藤 彰
 - 部 員 小川弘吉 早坂妙子
浅井明美 浅野澄江
相澤敏晴

発行

禪興寺花園会青壮年部・女性部 広報部
〒九八一・三六二五
宮城県黒川郡大和町吉田字長福寺一
電話番号 〇二二・三四五・二〇六三